

復刻デザインバスの運転について

路線バス「白棚線」(福島県白河市～棚倉町)に
国鉄当時の塗色を再現した、「黄色い“つばめ”」が走ります！！

一般路線バス「白棚線」(福島県白河市～棚倉町)に、1960年(昭和35年)から71年(昭和46年)にかけて国鉄バスとして全国で活躍した車両の復刻デザインバスを運行します。

○運行期間

2014年(平成26年)5月17日(土)～8月31日(日)

※8月1日(金)～8日(金)、18日(月)～22日(金)は【土休日】ダイヤで運転。

※8月9日(土)～17(日)は【お盆】ダイヤで運転。

○運行便(※都合により通常カラーのバスで運行する場合があります)

【平日】白河駅発 磐城棚倉駅方面行 9:15、13:35、17:35
磐城棚倉駅発 白河駅方面行 6:57、10:35、15:47

【土休日】白河駅発 磐城棚倉駅方面行 6:00、10:55、15:35、19:00
磐城棚倉駅発 白河駅方面行 7:00、12:35、17:20

【お盆】白河駅発 磐城棚倉駅方面行 11:35、15:35、19:00
磐城棚倉駅発 白河駅方面行 6:32、8:47、13:35、17:27



【当時】



【復刻デザインバス】

○「白棚線」のあゆみ

路線バス「白棚線」のルーツは、大正5年に鉄道路線として開業した「白棚鉄道」です。

その後、昭和13年に国有化されましたが、太平洋戦争の激化に伴い、昭和19年に「不要不急路線」として休止され、レールが撤去されました。

戦後、地元より鉄道復元の声も上がりましたが、鉄道路線跡地を専用道として活用することとなり、昭和32年に全国でも珍しいバス路線が開業することとなりました。

並行道路の整備等により、専用道はかなり減少したものの、現在でも開業当時の面影を色濃く残す区間もあります。